

第26回フォーラム：新プログラム BP2 発表記念

今こそ、“親子の絆”の大切さを深く認識しよう！

本会代表（精神科医） 原田 正文

新緑の気持ちのいい季節ですが、みなさまにはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、NPO法人こころの子育てインターねっと関西（KKI）では、来る9月15日（土）に第26回フォーラムを開催いたします。今月号では、このフォーラムの趣旨と内容を説明します。多数のみなさまのご参加をお待ちしています。

フォーラムの趣旨

KKIは、エンゼルプランがスタートした1995年に旗揚げし、活動を続けてきました。そしてこの間、子育て中の親の目線から国をはじめとする公的子育て支援に対して、「新しい風」を取り入れるよう、提言を続けてきました。

2010年秋には、KKIが独自に開発した「親子の絆づくり”赤ちゃんがきた！”」（愛称：BPプログラム）を発表しました。BPプログラムは全国の自治体などにより取り入れられ、図1に示すとおり、全国に順調に広がっています。そして、初めて赤ちゃんを育てる母親からは絶大な支持を得ています。

この度BPプログラムの第2弾として、2人目・3人目の赤ちゃんを育てている母親向けに、親子の絆づくりとともに幼児期の親子の関わり方をテーマとした新しいプログラム「親子の絆づくりプログラム」きょうだいが生まれた！」（愛称：BP2プログラム）を開発しました。この新しいプログラムがBPプログラムとともに元気に日本全国の母親たちのもとに届くことを祈念して、フォーラムを開催します。

フォーラムの3つの目的

今回のフォーラムは3つの目的で開催します。

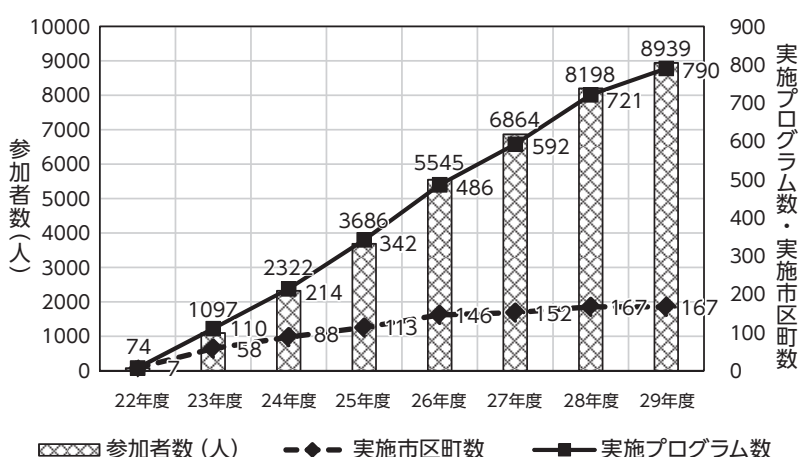
1つ目の目的：上に述べたように、新しいプログラムBP2を発表するとともに、BP2プログラムを全国に展開する出発点のフォーラムとすることです。

BP2プログラムについては、本年1月号の本会報で詳しく説明しましたように、第2子あるいは第3子以上の赤ちゃんとも母親が参加するプログラムです。このプログラムは、本会が第1子と母親が参加するBPプログラムを進める中で、第2子以上の赤ちゃんを出産した母親たちからの「私は参加できないのですか」という強い訴えに応じて本会が作成したものです。ともに「親子の絆づくりプログラム」と銘打っていますが、BP2プログラムでは、赤ちゃんの発達を知るとともに、幼児期になった上の子どもたちとの関わり方が大きなテーマになっています。

2つ目の目的：発表以来8年が経過したBPプログラムについて、全国の先進的で特徴的な取り組みから学ぶという目的です。具体的には、フォーラムの午前中の全体会でシンポジウムを開催します。シンポジストとして、自治体を中心に、地域も巻き込んでBPプログラムを対象者の6・7割に届けている静岡県磐田市。NPO法人が中心となり、自治体の協力も得ながらBPプログラムを当初から展開している岐阜市多治見市。民間団体「BP中野の会」の地道な努力により、東京都中野区からBPプログラムの実施委託をされるまでになり、3年目を迎える中野区。そして、医療機関として、自分の病院で出産した母親たちを中心にBPプログラムを継続的に5年間実施し、医療機関の新たな役割を提起しているJCHO大阪病院（旧：大阪厚生年金病院）です。

3つ目の目的：BP2プログラムの開始に伴い、BPプログラムとBP2プログラムのテキストを共通のテキストにするため、これまで使用してきましたBPプログラムのテキストは来年度（2019年度）から新テキストに変わります。そのため、この新しいテキストを紹介することです。フォーラムの午後の分科会「今なぜ 親子の絆づくりか？（pert II）」では、新テキスト全体の説明とともに、このテキストの重要な柱の1つになっています「子どもの心の発達」についてわかりやすく解説します。子どもの心の発達の理解は、乳幼児期の子ども支援にかかわるスタッフにとって最も重要な知識の1つです。

図1 開始以来のBPプログラムの実施状況の経年変化



第26回 フォーラム

BPプログラム第2弾!

親子の絆づくりプログラム“きょうだいが生まれた!”

日時 2018年9月15日(土) 午前10:30~16:00 (受付10:00~)

場所 大阪人間科学大学 庄屋学舎

●●●●●プログラム●●●●●

第I部 全体会 (10:30~12:30)

- 基調報告 「今なぜ 親子の絆づくりか? (part 1)
—BPプログラム8年間の実践報告と新プログラムの発表—
原田 正文 (大阪人間科学大学副学長 精神科医)
- シンポジウム 「今求められている子育て支援とは?
—各地のBPプログラムの実践から学ぶ—
コーディネーター 中川 千恵美 (大阪人間科学大学福祉学科教授)
シンポジスト 4地域の実践報告: 東京都中野区、静岡県磐田市、
岐阜県多治見市、JCHO大阪病院

第II部 分科会 (13:30~16:00)

- 第1分科会 「今なぜ 親子の絆づくりか? (part II)
—BPプログラムの新テキストの解説を中心に—
原田 正文 (大阪人間科学大学副学長 精神科医)
- 第2分科会 「BPファシリテータースキルアップ講座
—最新情報の提供と実践上の課題解決を中心に—
担当: KKI BPトレーナー
*対象: BPファシリテーター養成講座修了生
- 第3分科会 「NPファシリテータースキルアップ講座
—プログラムのすすめ方確認と実践上の課題解決—
担当: KKI NPトレーナー
*対象: KKIのNPファシリテーター養成講座修了生

■ 主催 NPO法人こころの子育てインターねっと関西

■ 後援予定 大阪府・摂津市・NHK大阪放送局